

第2次玉名市総合計画後期基本計画（案）に関する意見募集の結果及び玉名市の考え方について

令和4年2月9日
玉名市企画経営部企画経営課

「第2次玉名市総合計画後期基本計画（案）」について、市民等の皆さまからのご意見を募集したところ、次のとおりご意見をいただきました。寄せられたご意見の内容とこれらに対する市の考え方を示しています。

- 1 意見募集期間 令和4年1月17日から1月28日まで
- 2 意見提出件数 2件（2人）

番号	ご意見・ご提案の内容	ご意見に対する市の考え方	修正内容
1	<p>現状と課題に「今後の課題として、中学校部活動の地域移行により、総合型地域スポーツクラブがさらに重要となるため、安定した地域スポーツ活動ができるよう長期的視野に立って運営体制の強化を図っていく必要があります」と明記されています。令和5年度からは全国的な動きとなり、今後重要な課題と感じています。しかし、主要施策の概要では、中学校部活動の地域移行への取り組みの内容が具体化されていません。</p> <p>玉名市内のすべての子供たちが、校区に関係なくやりたいスポーツが自由にできる環境をどう構築していくのか、行政の支援とともに各スポーツ団体や学校関係者との協議ができる場を主要施策に反映させていただきたいと願っています。</p> <p>主要施策（１）「生涯スポーツ活動の普及振興」、（２）「競技スポーツの組織強化と指導者の育成」は、玉名市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブのめざすところでもあります。今の時代にふさわしい新たな地域スポーツクラブづくりも将来的には必要ではないでしょうか。</p>	<p>ご意見のとおり、現状と課題に記載されている中学校部活動の地域移行への取組について、主要施策の概要に記載がありませんでしたので、以下のとおり新たに記載します。</p> <p>主要施策の概要</p> <p>（１）生涯スポーツ活動の普及振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の運動部活動の社会体育への移行に伴い、関係機関と連携して、総合型地域スポーツクラブでの受入が可能となるための取組を推進します。 <p>また、いただいたご意見・ご提案は、生涯スポーツ活動や競技スポーツの取組の中で、引き続き持続可能な部活動の形態をどのようにしていくのか、市の実情に応じた対応を進めてまいります。</p>	修正あり

番号	ご意見・ご提案の内容	ご意見に対する市の考え方	修正内容
2	<p>本計画案において、繰り返し「人口減少」や「少子高齢化」への危機が叫ばれている。その一方で消防団員の確保と体制強化も求められている。</p> <p>本市の状況と同じく、消防団員も減少し、団員の年齢構成の偏り（若い団員の減少）が進んでいる。団員1人あたりの負担は以前にも増して重くのしかかっている。支援団員や他の制度でそれが補えているとはとても考えられない。</p> <p>出初式の市長訓示においてもそうだが、役割の重要性ばかりを強調するやり方には限界がきているのではないだろうか。</p> <p>市はもっと「消防団員の負担軽減」を積極的に追求し、消防団員へのアンケート調査をして、その結果を活動に即反映させるなどの取り組みを行うべきである。その上で活動の効率化を図るべきである。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任意参加でありながら実質参加が強制されているポンプ操法大会への市としての不参加表明。 ・年末警戒を自宅待機当番制にして、定時巡回のみにする。 ・真冬の屋外での早朝出初式を止め、コロナ後も屋内開催にする。 <p>少なくともこれらを実施するだけで、団員は家族と過ごす時間や仕事時間を奪われる機会が減る。過疎高齢化が進んでいる本市にせつかく残り、地域に貢献している若い市民をこれ以上疲弊させてはならない。</p>	<p>全国の消防団で団員数が減少している中、災害の多発化・激甚化により、消防団員の負担が増加しており、団員の処遇改善が課題となっております。</p> <p>玉名市消防団においても同様の課題を抱えているため、年末警戒の日数短縮や出初式の時間短縮等の対策を講じることで団員の負担を軽減し、処遇改善に努めてきました。</p> <p>今回いただきましたご意見については、消防団運営の内容を検討するうえで、ご意見として参考にさせていただき、引き続き団員の処遇改善に努めて参ります。</p>	修正なし